

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
こどもの世界 Children's world		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子 田村田	講義棟・本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
子どもを取り巻く世界には魅力がたくさんあります。その中で、子どもの周りに当たり前のようにある絵本やおもちゃ、生活の中の廃材や身近な素材を活用して「豊かな心」を育むことにつながる過ごし方を考えます。さらに、保育や教育の現場において広がりを見せているマルチメディア利用についても、実際にタブレット等に触れながら導入方法について考えていきます。				
授業の目標				
①絵本の魅力に触れ、絵本から育まれる心の世界を深く感じることができるようにする。 ②身近な素材を使ったおもちゃ製作を通して、様々な素材の魅力を知ることができるようにする。 ③様々な活動の中で仲間と共に創意工夫する楽しさを知ることができるようにする。 ④タブレット等の適切な利用方法を理解すると同時に、創作活動を楽しむことができるようにする。				
授業の方法				
個人、またはグループで活動に取り組む。シラバスで提示された活動に関連して興味のある物に取り組む場合は、履修者間で協議して対応を決める。楽しむこと、発見すること、試すこと、失敗することなど、様々な体験を自然体で経験する。				
学習の成果（学習成果）				
①今まで気づけなかった絵本の魅力や身近な素材の魅力を体験することで子どもを取り巻く環境の大切さを知り、「こどもの世界」は大人にとっても心が豊かになる世界であることに気づき、発想豊かに生活を楽しむことができる。 ②マルチメディアを用いる際に必要な配慮事項等を理解し、適切に利用できる力を持つ。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの説明と履修の注意事項確認、授業内容と準備するもの）			
第2回目	おはなしの世界と絵本の魅力① ～日本の昔話、紙芝居、絵本～			
第3回目	おはなしの世界と絵本の魅力② ～絵本を楽しみながら読む～			
第4回目	身近な素材…素材の魅力と活用① ～嗅覚：生活の中にある素材の面白さを発見～			
第5回目	身近な素材…素材の魅力と活用② ～ポリ袋の素材を生かした工夫と製作～			
第6回目	身近な素材…素材の魅力と活用③ ～視覚：色・光・鏡を楽しむ～			

第7回目	おりがみの魅力① ～生活の中の折り紙～
第8回目	おりがみの魅力② ～折り紙あそびから立体へ～
第9回目	おりがみの魅力③ ～空間を豊かに彩る折り紙～
第10回目	子どもとマルチメディア① ～タブレットの基本操作を理解する～
第11回目	子どもとマルチメディア② ～カメラ機能を用いた活動（1）色々な風景や人を撮影してみよう～
第12回目	子どもとマルチメディア③ ～カメラ機能を用いた活動（2）撮影素材を活かした製作活動～
第13回目	子どもとマルチメディア④ ～カメラ機能を用いた活動（3）クレイアニメーション 考案～
第14回目	子どもとマルチメディア⑤ ～カメラ機能を用いた活動（4）クレイアニメーション 製作～
第15回目	各自が見つけた「こどもの世界」の口頭作品発表 ～担当講師からの講評～
事前・事後学習	日頃から身近な素材に触れ、感動体験を増やす。活動を活かし、日常生活の中においても様々な魅力を発見してほしい。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	必要な教材や材用の準備ができている。演習活動を楽しんでいる。他者の考えに共感したり興味や意見を持ったりする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	製作に時間がかかっても完成することができている。「こどもの世界」を自らの言葉と活動で表現することができている。
その他	30%	タブレットで制作した作品の提出。

教科書と参考図書

教科書は無し。授業内で参考書籍を提示する。  
図書館の活用を望む。

履修上の留意点・ルール

- 実務経験 高橋（職種：幼稚園教諭、職歴：5年）
- ・製作に必要な教材、材料、用具は各自が持参する。使用教室の環境整備に努める（片付け、清掃など）。